

盛岡みたけ支援学校

研究テーマ

「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した

授業づくり」

～学習評価の充実を通して～（2年研究2年次）

1 全校研究

(1) 本校の研究について

本校のこれまでの研究において、児童生徒が学習したことを小学部、中学部、高等部と積み上げていくことが課題とされてきた。そこで、前研究から取り組んでいる「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり」のために、授業改善が効果的にできるよう学習評価の充実に向けて取り組むことにした。

(2) 研究の実際

① 1年次の研究

1年次は、教科研究会を中心に取り組み、本校の学習の方向性を確認した。教科研究会では、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習、音楽、体育の5つの教科等において、各学部の情報交換を行いながら、小学部から高等部までの学習を積み重ねることができるよう「みたけの教科等の考え方」を作成した。

② 2年次の研究

2年次では、「みたけの教科等の考え方」をもとに授業実践するために教科研究会と研究授業、授業研究会に取り組んだ。詳細を「2教科研究会」「3 全校研究授業、全校授業研究会」「4 学部研究授業、学部授業研究会」に示す。

③ 研究のまとめ

本研究では、「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり」に取り組み、「みたけの教科等の考え方」の作成により、以下の2つの成果があった。

- ・指導内容について情報交換をし、各学部の学習の在り方についての方向性を確認できた。
- ・授業における児童生徒の学習の様子を3観点で評価し、学習評価を授業改善につなげることができた。

今後にもこのように校内での共通理解を図り、授業改善を効果的に行なっていきたい。

2 教科研究会

教科研究会は、4月、7月、12月に実施

し、授業実践の情報交換と「みたけの教科等の考え方」の確認や改善を行った。

3 全校研究授業、全校授業研究会

研究授業では、「みたけの教科等の考え方」に基づき指導案の作成を行った。授業研究会では、10グループに分かれて対象生徒2名の学習の様子を3観点で評価し、学習評価について検討した。

- ・高等部選択音楽「観武祭で観武太鼓を発表しよう」

4 学部研究授業、学部授業研究会

全校授業研究会。研究授業に準じて、各学部で研究授業、授業研究会を実施し、対象児童生徒2名についての学習評価を中心に話し合い、授業改善につなげるように協議した。

(1) 小学部

- ①生単「調理：作って食べよう」
- ②音楽「音楽に合わせて秋を表現しよう」
- ③体育「フットベースボール」

(2) 中学部

- ①生単「コースターを作ろう(スエーデン刺しゅう)」
- ②音楽「クリスマスソングを楽しもう」
- ③体育「ティーボールで得点ゲームをしよう！」

(3) 高等部

- ①日生「朝の運動で楽しさを感じながら健康な体を作ろう」
- ②作業「観武祭で販売しよう」

5 講演会

演題：「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり～学習評価の充実を通して～」

講師：専修大学北上福祉教育専門学校

専任講師 名古屋 恒彦 氏

期日：令和5年7月28日（水）

参加者：70名※二戸分教室は主に Teams 参加

6 研修会

(1) 職員研修の日 7月25日（火）

施設見学と校内研修（講話）を選択制で実施した。

(2) 校内タブレット講習会 8月17日（木）

アンケート作成に係る Forms の基本的な操作演習を実施し、書面にて Teams 会議での PDF 資料の共有操作について確認を行った。